

# 令和6年度予算案の概要

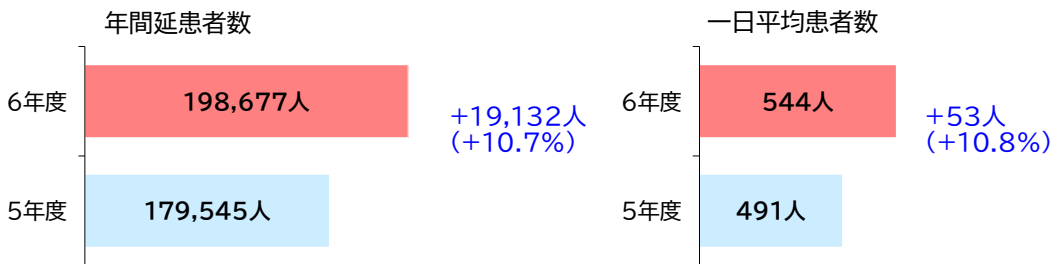
令和6年度予算においては、新型コロナに対応する病床の確保に応じて交付される補助金がなくなるものの、入院患者の増加などを見込み、収益的収入全体では、0.1億円の増加としております。収益的支出では、給与費の増加や、減価償却費等の増加を見込んでおり、収益的収支差引としては、9.8億円の赤字を見込んでおります。

資本的収入については、一般会計負担金の減少などから、8.9億円の減少を見込む一方、資本的支出について、一般会計からの長期借入金償還金がなくなったことや、企業債元金償還金も減少していることなどから、33.9億円の減少を見込んでおり、資本的収支差引としては10.2億円の不足を見込んでおります。

資金の状況としては、令和6年度単年度の資金残は▲13.4億円、過年度分と合わせた令和6年度末の資金残は6.0億円を見込んでおります。

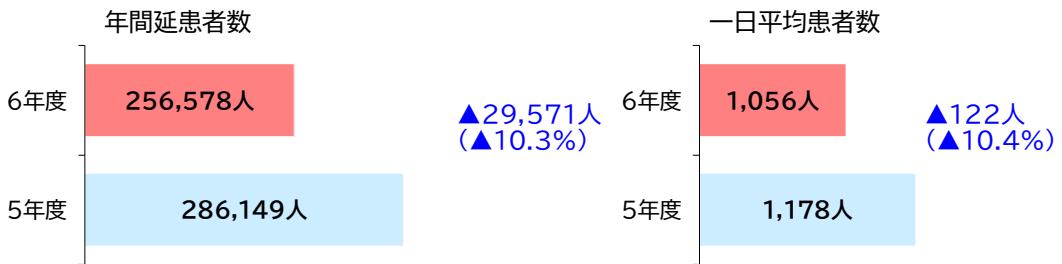
## 1 年間延患者数と一日平均患者数(当初予算比較)

入院



● 6年度は、5年度の決算見込などを踏まえ、年間延入院患者数は19,132人の増加を見込んでおります。

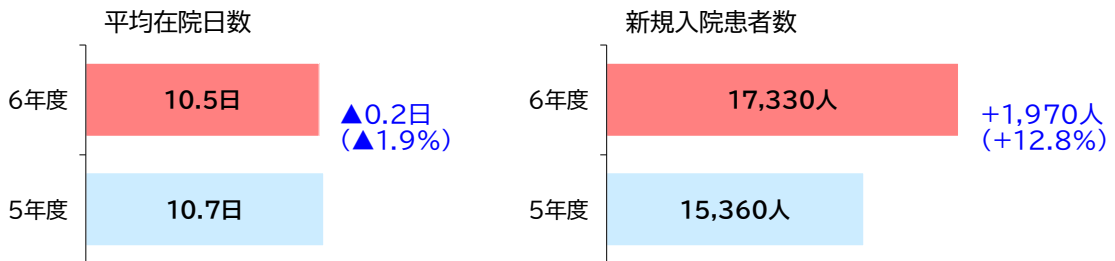
外来



● 6年度は、5年度の決算見込などを踏まえ、年間延外来患者数は29,571人の減少を見込んでおります。

## 2 平均在院日数と新規入院患者数(当初予算比較)

入院

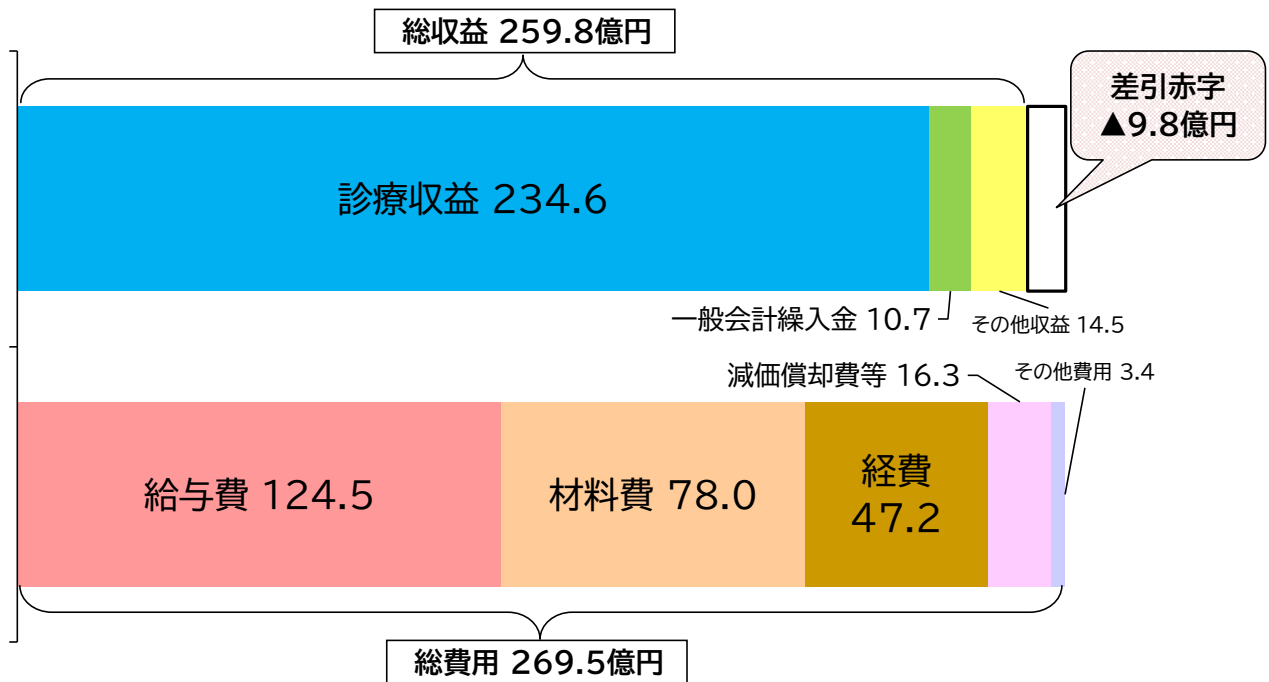


● 6年度は、平均在院日数では0.2日の減少、新規入院患者数では1,970人の増加を見込んでおります。

### 3 財政状況(税込)

※1千万円単位で表示しているため、総額とその内訳の合計が一致しない場合があります。

#### (1) 収益的収支(税込) <経営に伴って生じたすべての収益とそれに対応する費用⇒1年間の経営成績>



#### 【前年度との比較】

##### <総収益>

対前年度 +0.1億円(+0%)

##### <総費用>

対前年度 ▲10.7億円(▲4.2%)

##### <内訳>

○診療収益 対前年度 +15.9 億円  
入院患者の増加等による。

○繰入金 対前年度 +1.7 億円  
精神医療に要する経費の繰入金、小児・周産期医療に要する経費の繰入金の増加などによる。

○病床確保補助金 対前年度 ▲19.5 億円  
補助金の制度終了による。  
(新型コロナウイルスの5類化に伴うもの)

○その他収益 対前年度 +2.0 億円

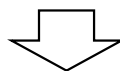
○給与費 対前年度 +4.1 億円  
会計年度任用職員への勤勉手当支給開始による増加、人事委員会勧告による給料の増加などによる。

○材料費 対前年度 +0.8 億円  
患者数の増加などによる。

○経費 対前年度 +2.9 億円  
委託料の増加、光熱水費の増加などによる。

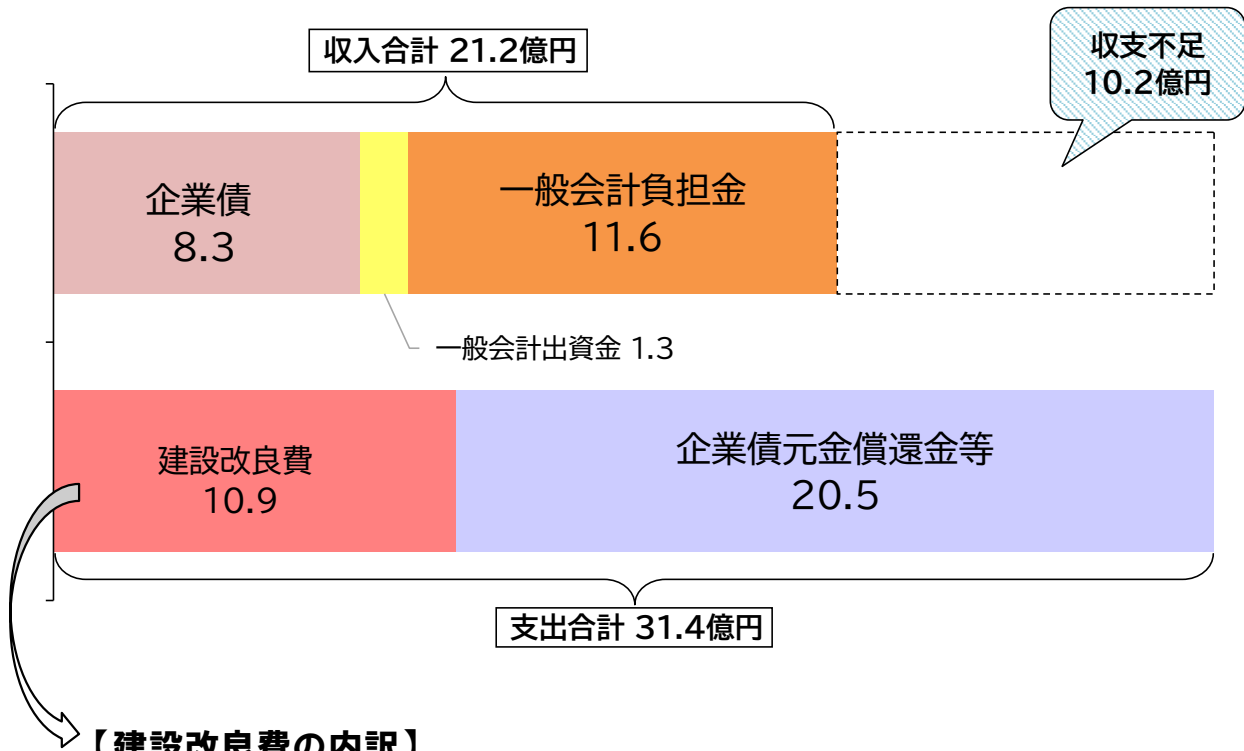
○減価償却費等 対前年度 +3.2 億円  
電子カルテ更新費の減価償却開始による増。

○その他費用 対前年度 ▲0.2 億円



収益的収支は前年度から10.6億円の悪化

(2) 資本的収支(税込) <建物や医療器械などの整備費用とその財源、借入金の返済など>



【建設改良費の内訳】

- 病院整備費 2.3 億円 空調設備ポンプ等更新工事ほか
- 医療器械購入等 8.7 億円 手術支援ロボット装置ほか

(3) 資金状況

当年度収支	▲20.0億円
(収益的収支▲9.8億円+資本的収支▲10.2億円)	
+	
損益勘定留保資金等(現金を伴わない収益と費用等)	6.6億円
当年度分資金残	▲13.4億円
+	
過年度内部留保資金(前年度までの資金残)	19.4億円
年度末資金残	6.0億円